



“縁起干支盃”——写真中央の盃を新年互礼会で「子年生まれ」の皆さんに贈呈します

今年は「子年」です

今年も経済や社会、国際政治などの動向について、様々な見方や予測が示されています。国内行事では、東京オリンピックとパラリンピックが最大の関心事ではないでしょうか。日本選手のメダルラッシュを目の当たりにしたいものです。海外では、世界経済をも左右する米国大統領選挙を最重要視するメディアも数多くあります。五輪後の景気動向や米中関係、英国EU離脱等、行方を見通せない現状はネガティブな思考に陥りがちですが、今年の十二支“ネズミ”は子孫繁栄や財を蓄える象徴とされています。この意味合いのとおり、皆様にとって良い年になりますように――。

目次

新年のごあいさつ

舞鶴商工会議所 会頭	2
日本商工会議所 会頭	3
舞鶴市長	4
京都府知事	5
舞鶴商工会議所 役員、議員、顧問	6
部会長、委員長、青年部、女性会	7
令和2年度商工施策要望	8、9
“こだわりの逸品10周年”の開催	9
「春の就職フェア」参加事業所を募集 インフォメーション	10

年頭ごあいさつ

成長への挑戦で 稼げるまちを創ろう



舞鶴商工会議所
会 頭 小 西 剛

明けましておめでとうございます。

皆様には、令和初の新春をご家族お揃いでお健やかにお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

どうか、この新しい年が、舞鶴にとりまして、また、皆様にとりまして「良き年」となりますことをご祈念申し上げる次第であります。

年頭にあたり、私は、商工会議所に課せられた責務の重さを肝に銘じて、皆様とともに、これまで以上に、国や府、市などの行政機関や、海上自衛隊、海上保安庁などとの良き関係を維持し、「元気なまち」「夢あるまち」そして「楽しいまち」をめざし、舞鶴商工会議所の組織を挙げて取り組んでいく決意を新たにしています。

さて、日本経済は、民間投資が底堅く比較的堅調を維持していると言われていています。しかしながら、国内では、消費税引き上げの反動やポスト オリンピックの動向、国外では、予断を許さない米中貿易摩擦、道筋はついたものの今後の動向が注目される英国のEUからの離脱、不安定化する中東情勢など、不透明感が増しつつあり、決して楽観できる状況にはなく、景気減速のリスクは小さくありません。

人手不足が、ますます深刻になることが確実な中で、日本経済を持続的に発展させる最重要対策は「生産性の向上」以外ありません。

私は、生産性の向上を図るためには、国を挙げての取り組みが必要であり、特に私たち中小・小規模企業の取り組みについては、事業承継・創業や、身の丈にあったITの活用を通じた「成長への挑戦」が重要だと思っています。

本市の産業構造は、その強みであり特性でもある、市内の大手事業所がそれぞれ異業種であるとともに、不況に左右されない国の機関・施設が多いことから、比較的景気動向に左右されにくいという都市と言われています。

こうした強固かつ柔軟な産業基盤に加えて、IT、IoT、ロボットなどを活かした、新しい産業を創造することで“明るい未来を拓く”舞鶴ならではの“ビジネス環境”を構築できるのではないかと考えています。

舞鶴の基幹産業である造船業は“裾野の広い産業”です。官公需船の建造は造船本体のみならず、地域を支えようと懸命に頑張る中小企業への支援になり、地域の活性化にも大きなインパクトになるものです。官民一体となって、地域挙げての「国や関係先への受注活動」を展開することも重要です。

いずれにしましても、地域が元気で活力を有することは、市民生活の豊かさに直結するとともに、企業活動の活発化につながります。

また、エネルギー関連については、昨今の自然災害による大規模停電は、経済的にも民生の安定や生命を守るうえからも、良質な電気エネルギーの安定供給の重要性を改めて実感させてくれました。

引き続き、「安全」「安定供給」「経済性」「環境保全」を考えた多様な電源構成（ベスト・ミックス）による、現実的で合理性のあるバランスのとれたエネルギー政策が正しく実行されるよう期待しています。

舞鶴には、「海あり、山あり、人あり」という、たぐい稀な素材と潜在能力があります。これらをまちの財産として活かすため、皆さんの“知恵”や“工夫”と“熱い思い”、そして“お互いのご縁”の中で、地域にある資源とポテンシャルを最大限に活用し「みんなが稼げるまち」を創っていくことが必要だと考えています。

本年も、舞鶴商工会議所に対しまして、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、舞鶴のさらなる発展と会員企業のご繁栄、並びに皆様方の益々のご健勝・ご多幸を心からお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

日本商工会議所 会頭

年頭所感

日本商工会議所
会頭 三村 明夫

明けましておめでとうございます。

2020年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

私は、昨年11月の臨時会員総会において、各地商工会議所の皆様のご推挙を得て日本商工会議所会頭に再任され、日商会頭として3期目の新年を迎えることとなりました。各地の皆様におかれましても新体制の下、清々しく新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、昨年は国内外ともに実に多くの動きがありました。

わが国では30年ぶりの御代替わりを経て「令和」時代の幕が開き、大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップ、5年ぶりの消費税率引き上げ等、重要な出来事が相次ぎました。一方で、台風等の自然災害による被害も広範囲かつ甚大なものとなり、いまだ影響の残る被災地の皆様には、改めて心からお見舞いを申し上げたいと思います。

世界では、長期化する米中対立、不安定な中東情勢、ブレグジット問題、香港問題、日韓関係の悪化等、数々の混乱が生じ、その出口を模索し続けた1年でありました。

わが国の経済情勢に目を転じれば、個人消費にはいまだ力強さを欠くものの、米中摩擦等の影響もこれまでのところ限定的であり、民間投資は引き続き底堅く、日本経済は潜在成長率並みの1%程度の緩やかな拡大を続けています。本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、東京および全国各地の魅力とともに、東日本大震災等から復興した日本の姿を、全世界にアピールできる絶好の機会であり、ぜひともこのビッグイベントによる効果を全国津々浦々に波及させ、日本全体が元気になれる1年になることを切に願っております。

一方、わが国経済は多くの課題も抱えております。人口減少や高齢化等の日本社会の構造変化を背景に、年々深刻化する人手不足、経営者の高齢化等による廃業の増加、地方の疲弊等が、日本経済のさらなる成長の足かせになっております。これら日本の抱える構造的課題は、立場の弱い中小企業の経営課題として最も早く顕在化してきており、大企業との利益率格差は年々拡大し、また賃金も毎年上昇する中で、労働分配率は大企業の40%台に対し、中小企業では70%台に達しています。従って、生産性の向上や取引価格の適正化等を通じた付加価値の向上なくして、中小企業はこれからの時代を生き抜くことはできません。

こうした危機感の下、私は昨年11月、会頭再任時の所信において「中小企業の強化を通じて日本の成長する力を育てる」「地域の活性化」を活動の二本柱とする今期の取り組みを表明いたしました。

中小企業はわが国経済の基盤であります。日本全体の雇用の約7割、付加価値の約5割を生み出している中小企業の強

化なくして、わが国の持続的な経済成長はあり得ません。所信では、①ひっ迫する人手不足とデジタル社会の到来にあって、いまだ「発火点」に達していない中小企業への「IT導入」と「デジタル技術の実装化」を急ぎ、生産性向上と付加価値向上を同時に実現すること、②来る「大企業承継時代」を変革と創造の好機と捉え、「事業承継の加速化」で価値ある事業と技術を次世代へ承継し、「起業・創業の活性化」でビジネス全体の新陳代謝を促すこと、③取引価格の適正化とともに、中小企業の実業性向上を大企業が積極的に支援する「大企業と中小企業の新しい共存共栄関係の構築」により、サプライチェーン全体をより強固なものにしていくこと、をわが国経済全体の発展・強化のための最重要の取り組みとして掲げています。

また、「地域の活性化」では、各地域がその魅力を活かし、他地域とも連携して所得向上に取り組まねばなりません。地域横断での広域連携を軸とした「観光振興」と「農商工連携」をさらに推し進め、地域の独自資源を最大限に活用して、インバウンドも含めた域外需要を取り込んでいく必要があります。また、観光振興や地方創生の取り組みを支え、これを加速化するストック効果の高い社会資本整備や、近年頻発する大規模自然災害に耐え得る国土強靱化についても、引き続き政府に対して積極的な働き掛けを行ってまいります。

これらの目標を実現させる上で、われわれ商工会議所は本年も「現場主義」と「双方向主義」をさらに徹底し、現場の声を、各種の規制・制度改革、持続可能な全世代型社会保障制度の構築、中小企業対策等を実現する政策提言に活かしてまいりたいと思います。商工会議所の強みは、全国515商工会議所、124万会員のネットワークを通じて、具体的・個別的な課題をはっきりと認識していることです。その強みを活かし、それぞれの地域で必要とされ、選ばれる組織であり続けるためには、地域の多様な主体と連携協働を図りつつ、商工会議所自身も、時代の要請に合った進化と変革を遂げていかねばなりません。

折しも、商工会議所の創始者である渋沢栄一翁が、2021年のNHK大河ドラマの主人公や、新1万円札の顔となることが決定しました。「企業は利益を上げなければならないと同時に、公益についても考えなければならない。両者は高い次元で両立する」という渋沢翁の理念は、商工会議所の活動理念そのものであり、現代においてこそ広める価値があるものと考えます。この機に渋沢翁の理念を改めて共有し、大企業と中小企業、都市と地方が共に輝き、日本経済の持続的成長をさらに後押しできるよう、本年も皆様と共に全力を尽くして取り組む所存であります。

市長新年あいさつ ～多様な連携による 「心が通う便利な田舎暮らし」の 実現に向けて～



舞鶴市長
多々見 良三

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しく希望に満ちた「新春」をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、元号が「令和」に改元され、新たな時代が幕を開けた年であり、舞鶴市においては「ひと・まちが輝く未来創造 港湾都市MAIZURU」を都市像に掲げる第7次総合計画をスタートさせ、次なる時代への歩みを始めた年でした。

第7次総合計画が目指すまちづくりは、本市の豊かな自然、連綿と引き継がれてきた歴史・文化、少し足を延ばせば都会にも行けるという立地性などを最大限に生かし、定住人口10万人規模のまちの賑わいを確保しながら、新たな技術を導入した未来型のスマートなまち「心が通う便利な田舎暮らしができるまち」です。

これは、先進技術を単に効率化などに活用するのではなく、人と人とのつながりや助け合いを促進する新しい仕組みづくりに生かし、人々が助け合って生活するコミュニティの良さを維持しながら、便利で心豊かに暮らせるまちの実現を目指すものであり、この熱い思いが、今、地域に広がっていると感じています。

青井地区では、地域の皆さんを中心に、城北中学校区地域支援協議会、城北中学校、福井小学校の皆さんが、フジバカマを地域の宝物として育てていこうという取り組みを通じて、次代を担う子ども達に地域への誇りや愛着を伝えておられます。

また、中舞鶴小学校5年生の皆さんが、総合学習で地域の歴史を学び、昔のような活気を取り戻そうと、和田海岸の清掃活動などを行い、地域の皆さんと共に藤の森公園の再生に取り組み「藤の森まつり」が開催されました。代表児童からは「舞鶴を笑顔あふれるところにしようとの思いで取り組んできました」との挨拶を聞き、子ども達の地域を思う心に胸がいっぱいになりました。

昨年10月に開催された「平和祈念式典」では、戦後、旧大浦中学校の生徒が舞鶴港へ引き揚げてこられた方を出迎えた時に歌っていた「引き揚げ者を迎える歌」を若浦中学校の皆さんが復活させ、合唱を披露いただき、歌を通じて、引き揚げの史実と舞鶴の温かい真心を次世代へとしっかりつないでくれました。

南舞鶴地域では、青葉中学校美術部の皆さんが、今年50周年を迎えられた南福祉協議会の新しい団体旗をデザインされました。考案した生徒たちは、自分たちの考えた団体旗が、将来の南舞鶴地域を象徴するものになることに、誇りと責任を感じていると話してくれました。

私は、このような取り組みが今後さらに広がり、地域の持続的な発展、舞鶴の「元気」につながるようなまちづくりを、市民の皆さん、市内事業所の皆さん、産官学金労言士など関係機関・団体の皆さんと共に、多様な連携による、まさに「全員野球」で、持続発展させてまいりたいと考えています。

今後とも、この素晴らしい舞鶴を、次代を担う子ども達によりよい形で引き継げるよう、本市が担っている国防や海の安全、エネルギー拠点としての重要性、また、豊かな地域資源や、連携の輪といったものを、正しく理解し、触れる機会をさらに増やすことで、地域への誇りや愛着を育むことをはじめ、舞鶴で学び、働き、夢を叶え、暮らせるまちづくりを推し進めると共に、先進技術などを積極的に導入し、人と人とのつながりの部分を重視する中で、真の弱者を周りが支え合う「心が通う便利な田舎暮らし」の実現に邁進してまいりたいと考えておりますので、本年も変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

知事年頭のごあいさつ 夢や希望を実現できる年に



京都府知事
西脇 隆俊

新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM（国際博物館会議）京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が注目される一年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が榮譽に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方が亡くなるという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めたものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取り組みを進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。

京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020」）が、そして来年にはワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます。こうした機運の中、府内初となる専用球技場「京都スタジアム」が完成し、迫力のあるスポーツイベントを臨場感いっばいに楽しんでいただけるようになりました。同スタジアムを京都府中北部地域へのゲートウェイとして地域活性化を図るとともに、スポーツを通じて関西一円を元気にしてまいります。

そして、東京2020の開催に合わせ、日本の美を体現する「日本博」が文化庁主導のもと全国で開催されます。この機会に京都府では「京都文化力プロジェクト2016-2020」の総仕上げとなる総合的な文化の祭典を開催するほか、2021年度を目途とする文化庁の本格移転を見据え、文化の保存、継承、創造、発展にも力を注ぎます。

また、伝統産業とその技を生かした新技術、観光・文化産業、ハイテク産業が三位一体となり、さらに大学等が集積した京都の潜在力を大いに発揮することが求められます。京都経済百年の計となる「京都経済センター」を核に、起業から成長支援、海外展開、人材育成まで、イノベーションが起こり続ける事業環境の創造を進めてまいります。

共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人であります。就任以来、一貫して進めてきた「子育て環境日本一」の実現に向け、2040年までに全国平均並みの合計特殊出生率を達成するべく「子育て環境日本一推進戦略」を策定しました。この目標の達成は容易なことではありませんが、「水滴石を穿（うが）つ」と申します通り、粘り強く取り組んでまいります。

今年は、十二支の始めである子（ね）年。『漢書』律曆志によると、新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態を表しているとされています。この新しい年を、府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持てる、新しい時代の京都を築き上げるための第一歩とするため、共に歩んでまいりましょう。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

役員・議員・顧問(順不同・敬称略)

【会 頭】

小西 剛 小西商事(株)

【副会頭】

安達 久和 日本通運(株)舞鶴支店
今安 茂也 (株)イマヤス
一盛 広樹 日本海警備保障(株)

【参 与】

瀬川 甫

【専務理事】

西山 隆成

【常務理事】

日置 正

【監 事】

松本 昭司 (株)まつもと米穀
佐藤 正典 (株)京都銀行東舞鶴支店
塩見 邦夫 (株)シオミ

【常議員】

松本 直樹 舞鶴倉庫(株)
嵯峨根仁史 弥栄電設工業(株)
櫻木 博 (株)アルスタ
志摩 敏樹 志摩機械(株)
植本 浩明 上杉教育機器(株)
岸田 正昭 田中産業(株)
佐古田政彰 (株)佐古田電機
田中 信男 舞鶴水産流通(協)
宮本 修吾 (株)エヌエスケイ
高井 盛作 (株)コザイ印刷所
近藤 修 ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所
上林 喜寛 京都府漁業(協)
坂根 功一 (株)坂根工務店
安原 良一 京栄電材(株)
田中 正明 (株)田中製作所

波多野雅則 ケンコマヨネーズ(株)西日本工場
工藤 秀樹 京都北都信用金庫
大石 昌徳 関西電力(株)舞鶴事業所
布野 勝也 日本板硝子(株)舞鶴事業所
江守錬太郎 江守石油(株)
北野 裕介 日立造船(株)舞鶴工場
久下 幸典 (有)幾久鶴
土井 博司 土井油糧(株)
西村 直紘 (株)西村住建商事
藤原 英樹 (株)藤善

【議 員】

上野 仁 (株)上野総合保険センター
仲東 博一 (株)エール
廣瀬 久哲 HRS総合研究所
大滝 雄介 (株)大滝工務店
齋藤 友幸 (株)霞月
河田 友宏 河田産業(株)
上西 克己 KANSAI税理士法人
安原眞智子 (株)京栄電工
仲野 東 京都府信用漁業(協)連合会
西山 裕樹 (一社)京都舞鶴港振興会
鍋師 重則 (株)京綾貨物輸送
谷川 眞司 (株)共和堂
林 哲生 キリンビバレッジ(株)京滋支社 舞鶴駐在
近江 喜彦 新日本海フェリー(株)
高田 稔 (株)高田工務店
柿野 剛清 (株)田中工務店
長崎 實 長崎工業(株)
中田 芳邦 (株)中田アルナ
西村寿美子 (株)西村紙油商事
長岡 高史 (株)ニューオーサカホテル
エンタープライズ ホテルパルマール
田中 啓介 (株)パシフィックウェーブ
深田 邦彦 (有)深田新聞舗
細井 正敏 細井工業(株)
藤元 達雄 舞鶴さかなセンター(協)
多田 佳史 (株)舞鶴浄美社

尾島 潔 舞鶴流通産業(株)
眞下 英夫 (株)ましも
伊庭 八郎 丸二金物(有)
南 房夫 南石油(株)
松本 房雄 (株)山下金物店
吉田 茂 吉田工業(株)
松本 芳弘 (株)アート
森 道明 アクサ生命保険(株)福知山営業所
田端 昭則 飯野港運(株)
上原 正夫 上原正夫税理士事務所
志摩幹一郎 (有)ウッディーハウス
畑本久未子 (有)加寿美
吉永 豊一 (株)京都インクス
小山 剛 (株)こやま
尾関 善之 タイヨー電化
竹田 喜芳 タケダ工芸(株)
久富 論治 鶴美建設(株)
林 博之 (有)ハヤシスポーツ
松井 恭子 (株)東舞鶴グランドホテル
平野 功 (株)フクヤ
西 忠生 (株)平和熔工所
堀口 宏之 (株)ホリグチ
辻 義雄 舞鶴かまぼこ(協)
三方 圭一 (株)舞鶴ホンダ
福長 尚斉 (株)丸福産業
江波 明 (株)エナミ精機

【名誉議員】

山雄 堯之 元副会頭
田中 康弘 元副会頭

【顧 問】

多々見良三 舞鶴市長
上羽 和幸 舞鶴市議会議長
池田 正義 京都府議會議員
小原 舞 京都府議會議員

機械金属部会

田中正明

大きな節目となりそうな子年、困難を乗り越えなければならぬ年になりそうです。令和二年目、部会員の皆様と共に知恵を出し合い、前進して行けるよう頑張っていきます。

建設部会

坂根 功一

人材不足、働き方改革と難題は山積しておりますが、令和になって初めての新年を迎え、子年は十二支の先頭です。新たな気持ちで皆様と共に地元経済発展のために、努力してまいります。

製造部会

小山 剛

消費税率が10%になり先行き不透明な経済状況の中、時代の流れ、多様化するニーズをしっかりと捉え、地域経済発展のために取り組んでまいります。

商業部会

久下 幸典

超高齢化・少子化・空き店舗問題、そして増税。大変な時代を乗り切るには、自社の「在り方」=ブランディングが必須です。商業部会で共に学び、盛り上げていきましょう。

情報サービス部会

竹田 喜芳

部会員の皆様と連携し、個々の事業所発展に繋がる勉強会や情報交換を通じて部会活動の活性化に努めてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

交通運輸・港湾部会

松本 直樹

世界レベルで政治・経済情勢が揺れ動く中で新年を迎えることになりました。良好な品質の商品、精度の高い業務をベースに皆様とともに本年を乗り切りたいと念願しています。

食料品・水産部会

田中 信男

今年はオリンピックが開催され、日本全体が盛り上がります。私たちの業界も「繁栄」の年と言われる「子年」にするため精進してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

金融・理財部会

工藤 秀樹

本年は日本で開催されるオリンピックの年、明るい年となり、地域が元気になるよう皆様と共に活動してまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

料理飲食部会

畑本 久未子

令和の時代を迎え和やかな幕開けもひととき、増税・軽減税率対策など厳しい現実が山積ですが、ご即位の慶事に明るい兆しを祈念し、部会では、会員の親睦と食の向上に精進します。

環境サービス部会

福長 尚齊

本年は日本でオリンピックが開催され、活気ある一年が期待されます。部会活動も活気にあやかり、活力ある一年にしていきたいと思います。会員の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

総務委員会

嵯峨 根仁史

子は繁栄の象徴とされ、運気が来る年です。人口減少からの脱皮と若者の定着場所を提供し、地域経済の向上、地元企業の活性化のため会議所とともに成果ある一年にしましょう。

政策提言委員会

植本 浩明

地域総合経済団体として、本市の持続的かつ確実な発展のために、委員一同、知恵を出しあい提言を行います。皆様の御協力の程、よろしくお願いいたします。

産業振興委員会

坂根 功一

人材不足、働き方改革等、地方の中小企業にとっては厳しい環境ですが、海や山がある地勢を活かし、産官学が連携して若者が定住できる魅力ある地域経済を目指して取り組んでまいります。

観光振興委員会

高井 盛作

舞鶴への観光入り込み客数は年々増加傾向にあり、さらなる観光振興を地元経済活性化の推進力として位置付けております。本年もどうかよろしくお願いいたします。

自衛隊委員会

安原 良一

自衛隊との良き関係を維持し、地方創生、地域活力強化に取り組み相互の交流と親睦を更に図り、より一層、街への誇りと愛着を高め地域活性化の一翼を担ってまいります。

会員サービス委員会

松本 昭司

令和初の新年、今年も優良従業員を多数推薦していただくようよろしくお願いいたします。会報へのチラシの同封サービスもご利用ください。よろしくお願いいたします。

青年部

迫田 充弘

令和2年度舞鶴YEGは、40周年を迎える記念すべき年度となり、メンバーと共にさらに自社業と地域を盛り上げ、商工会議所活動の一翼となれるよう邁進してまいります。

女性会

杉本 寿子

旧年中はいろいろとお世話になり心よりお礼申し上げます。女性会は、明るい未来に向け、地域に役立てるよう努力します。今年もよろしくお願いいたします。

令和2年度商工施策要望を実施 12月3日舞鶴市長に説明 京都府は10日に —— 稼げる環境の整備促進など ——

舞鶴商工会議所では、地域経済の振興や会員企業の儲かる環境づくりの実現に向けた要望について、京都府と舞鶴市の事業・予算に反映してもらうため、「令和2年度商工施策要望書」としてまとめ、12月に手渡しました。

12月3日には舞鶴市役所を訪問。小西会頭をはじめ、安達・今安・一盛副会頭や田中機械金属部会長、坂根建設部会長、竹田情報サービス部会長、瀬川参与、西山専務理事らが、多々見舞鶴市長に対し、各部会の要望・意見内容について説明を行いました。

多々見市長からは「要望の趣旨については、同様の理解をしている。市としては、商工会議所とともに引き続き企業の皆さんが“稼げる環境づくり”に努める」と力強い回答がありました。

また、京都府については、12月10日瀬川参与ら3人



10部会の内容をまとめた要望書を舞鶴市長へ提出
(12月3日：舞鶴市役所)

が訪問。西山専務理事から綾城中丹広域振興局長に対して、西脇知事あての要望書を託すとともに、10部会の要望項目を詳しく説明し、実現へ向けた検討を要請しました。

要望書の内容は、以下のとおりです。

令和2年度 商工施策要望（概要）

次年度予算編成にあたって、私たちの舞鶴を「元気なまち」「夢あるまち」そして「楽しいまち」にするために、以下について要望します。

1. 地元企業への優先発注と稼げる環境の整備

商工業者は、市民に最も身近な存在です。舞鶴市内の企業を優先活用することで、域内の所得が増えて経済の活性化に寄与し民生の安定にもつながります。公共工事等の発注については、過度な競争原理で地元企業が排除されることがないように。また、適正な利益が確保出来るよう地元企業への優先発注の推進をお願いします。

現在、「人手不足」が深刻で、中小零細企業は大きな影響を受けています。雇用対策や創業支援、販路拡大などへ重点的な対応をお願いします。

2. まちの繁栄と安全安心へのインフラ整備推進

山陰新幹線府北部ルート実現など、必要な公共事業を実施することで、安心して暮らすことができるだけでなく、「交流人口」拡大の可能性が一層

大きく広がります。

引き続き、京都舞鶴港の機能強化・整備促進や、「国道27号西舞鶴道路」、「市街地の総合治水対策」等の早期完成とともに、「舞鶴若狭自動車道の全線4車線化」などの整備促進、JR西舞鶴駅の機能回復などについてもお願いします。

3. まち（地域）の価値を上げる施策推進

企業誘致、事業継承の強化などによる定住人口の維持対策も喫緊の課題です。また、本市の特性として、市内の大手事業所が異業種であるとともに、不況に左右されない国の機関・施設が多いことから、比較的景気動向に左右されにくいという都市といわれています。こうした都市基盤やIT、IoT、ロボットなどを活かしながら、新しい産業を創造し舞鶴ならではの“ビジネス環境”を構築しなければなりません。「しごと」を増やし、適正な「利益」を生み出す仕組みづくりによって、まちに活力が漲るよう、更なる支援をお願いします。

4. 京都舞鶴港の整備促進と機能強化

京都舞鶴港の整備促進と機能強化については、「舞鶴国際ふ頭」や「第2ふ頭」などで重点的に進められる中、近年の取扱貨物量は飛躍的に増加しています。中国・韓国との定期コンテナ航路の充実をはじめ、日韓露国際フェリー航路等は今後に展望を拓くとともに、外航クルーズ客船や北海道フェリー航路についても順調な推移を示しています。

港は、舞鶴市の市勢進展の「大きな要」です。引き続き、ポートセールスの充実強化や、港湾の機能強化、整備促進をお願いします。

5. 企業が「夢と希望」を実感できる対策の推進

本年4月「働き方改革関連法」が施行される一方で、10月には最低賃金の改訂や、消費税率の10%へのアップが行われるなど、中小零細企業にとっては、厳しい経営環境——といわざるを得ません。

中小企業の「稼ぐ力」を強化するため、融資制度の充実や、雇用対策の強化、過度な賃金上昇の抑制などは重要です。また、造船業は“裾野の広い産業”です。官公需船の建造は稼ぐ力になるだけでなく、懸命に頑張る中小企業への支援とともに、地域の活性化にも大きなインパクトになります。

“こだわりの逸品10周年”を開催 ＼ええもんフェスタ／に18事業所が参加

12月15日、舞鶴商工会議所が商品開発と販路開拓を目的に支援してきた「まいづる逸品づくり塾」事業の10周年を記念し、「＼ええもんフェスタ／」を舞鶴市商工観光センターで開催。18事業所が参加しました。

今回は、販売促進の一環で、これまでに開発された逸品が8品と、現在開発中の10品を展示販売。事業者の“熱い想いとこだわり”をそれぞれの言葉でPRし、今後の商品価値の向上と事業の拡大につなげることを目的にした催しでした。

なお、「まいづる逸品づくり塾」は平成22(2010)年度



「＼ええもんフェスタ」に約2,500人来場(12月15日：舞鶴市商工観光センター)

に開始。参加者は、新商品づくりを専門家の指導の下で開発を進め現在までに57事業所の“逸品”が生まれました。今年度も5月から取り組んでおり、今回の出展も参考にしながら改良を加え、春頃に完成する予定です。

3月17日“春のまいづる就職フェア”

参加事業所を募集します

1月24日締め切り

3月17日(火)に開催予定の「春のまいづる就職フェア」に参加する事業所を募集します。今年3月の卒業予定者や一般求職者、シニア層などが参加予定です。

募集要項は次のとおりです。

開催概要

日時 令和2年3月17日(火) 午後1時～4時
場所 舞鶴市商工観光センター 4階、5階

- 参加条件 ①舞鶴市内に就業場所がある事業所で、令和3年春までに正社員または常用雇用で採用予定のある事業所
②中・高年齢労働者や障がい者等の雇用に理解がある事業所

申し込み

募集事業所 55社(先着順)
申込期間 1月10日(金)～24日(金)
申込方法 「舞鶴市・就職応援ネット」のホームページから申込用紙をダウンロード。必要事項を記入し、舞鶴市産業創造・雇用促進課へFaxでお申し込みください。

〇問い合わせ 舞鶴市産業創造・雇用促進課 Tel 66-1021 Fax 62-9891

INFORMATION インフォメーション

新春経済講演会

読売テレビ「かんさい情報ネットten.」などテレビ番組のニュース解説でおなじみの高岡達之氏の講演です



講師

読売テレビ報道局
解説委員
高岡 達之氏

テーマ **ニュースの裏側からキーワードで読むこれからの経済**

日時 **1月30日(木)** 午後1時30分～3時

場所 舞鶴市商工観光センター
5階コンベンションホール

申込方法 申込書(窓口にあります)に必要な事項を記入し、Faxか舞鶴商工会議所の窓口や郵送、ホームページからお申し込みください。

定員 330人(先着順)

参加費 無料

締め切り 1月27日(月)

主催 舞鶴商工会議所・舞鶴市

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600 Fax 62-4933

「経営安定セミナー」を開催

“常識破りの稼ぎ方”など学ぶ



1000店舗を黒字に導いた実績を持つ講師から“常識破りの稼ぎ方”や“ピンチをチャンスに変える秘策”を学びます

日時 **2月27日(木)** 午後1時30分～3時30分

場所 舞鶴商工会議所

講師 富田 英太氏(店舗経営コンサルタント/経営コンサルタント)

定員 先着30人

申込方法 2月20日(木)までに申込書(商工会議所窓口にあります)に必要な事項を記入し、Faxか直接窓口でお申し込みください。舞鶴商工会議所のホームページからも可能。

問い合わせ 舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600 Fax 62-4933)

ポリテックビジョン in舞鶴2020

日時 **2月14日(金)** 午前9時30分～午後4時45分
15日(土) 午前8時45分～午後4時

場所 近畿職業能力開発大学校京都校(上安)

内容 学生の研究成果発表(14日午後2時30分～、15日午前9時～)、作品展示(両日)
特別講演「北野裕介氏 日立造船(株)舞鶴工場長」(15日午後2時15分～)など

問い合わせ 近畿職業能力開発大学校京都校 Tel 75-7609

令和元年度 検定試験の日程

※申し込みは舞鶴商工会議所へどうぞ

【簿記】

施行回数	試験日	申込期間	ネット申込期間	級
第154回	2月23日(日)	12/23(月)～1/23(木)	12/23(月)～1/23(木)	2・3
受験料 2級 4,720円 3級 2,850円				

【珠算】

施行回数	試験日	申込期間	級
第218回	2月9日(日)	12/2(月)～1/9(木)	1～3
受験料 1級 2,340円 2級 1,730円 3級 1,530円			